

平成28年度遠野地区採材現地検討会

日時：平成28年6月29日（水曜日）

場所：遠野市宮守町上宮守国有林（素材生産請負現場）

参加者：県、市、製材・造材・検知関係業者、森林組合、森林管理署等（25団体、総勢84名）

（岩手南部森林管理署と合同開催）

実施内容

民有林等における原木採材方法及び木材市況の動向について（遠野地方森林組合業務課販売係長：菊池剛様）

木材需要の動向について（(有)鈴木製材所代表取締役：鈴木光宏様）

平成28年度立木及び素材の販売予定（遠野支署）

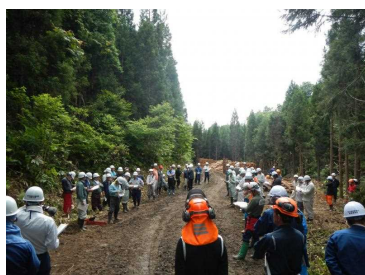
前年度の採材傾向について（東北森林管理局青森事務所）

採材方法の検討、実演

意見交換、講評

アンケート

実施状況



総勢84名の参加となりました



民有林等における原木採材方法及び木材市況の動向について

（遠野地方森林組合：菊池様）



木材需要の動向について

（(有)鈴木製材所：鈴木様）



採材の検討中1



採材の検討中2



採材の検討中3



検討結果発表(奥州地方森林組合)



検討結果結果発表(昭林遠野営業所)



検討結果発表(明和フォレストック)



検討結果発表(森林管理署監督員)



検討結果により玉切(スギ)



曲りの測定(カラマツ)

平成28年度は、前年度を上回る参加者数となりました。

採材の検討は、スギ2本、カラマツ2本を4チームに分かれて行い、検討結果により実際に玉切りをし、供給側、需要側などそれぞれの立場から検討を行いました。

また、菊池様、鈴木様からは、普段聞くことのできない民有林での採材方法や「すこぶる悪い」という市況の関係など、貴重なお話をいただきましてありがとうございました。